

KOBEを愛して47年／月刊 神戸っ子

2008年8月1日発行 第47巻第8号  
通巻563号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

# KOBECCO

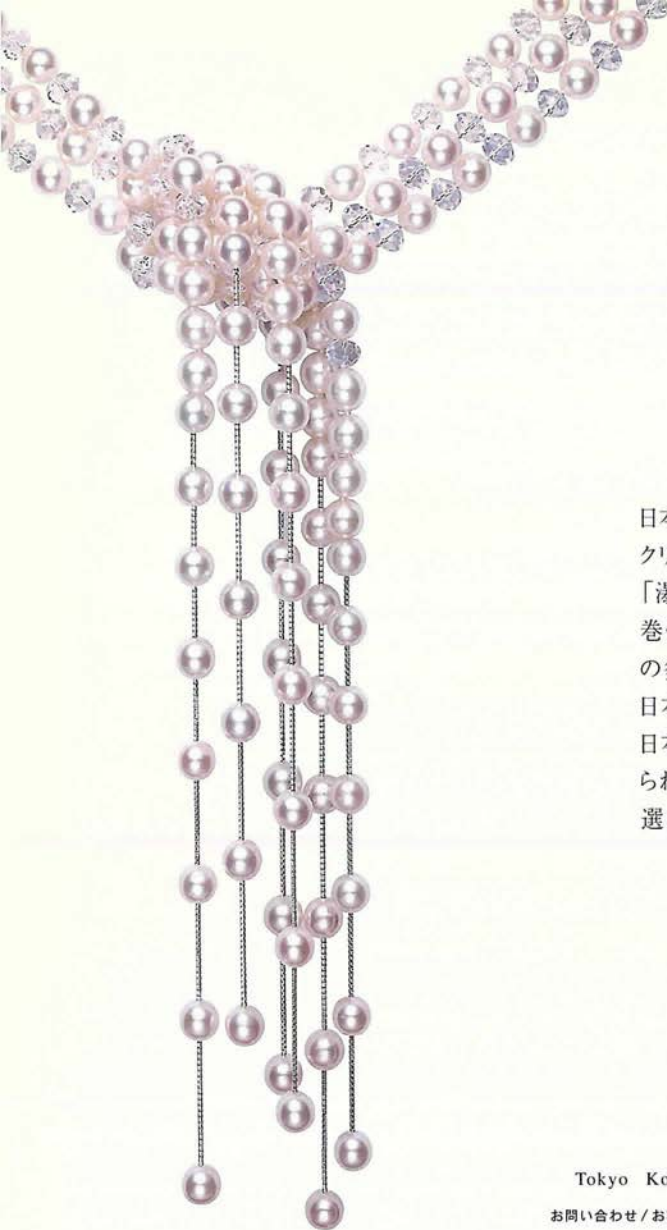
8

2008

August  
vol.563

幸せが・神戸  
住むまち  
*Kobe Wedding*





日本の様式美から生まれたネックレス

DESIGNED BY TASAKI

## BAKUFU 瀑布

日本が誇るアコヤ真珠をふんだんに用い、カットを施したクリスタルと組み合わせた、ラリエットタイプのネックレス「瀑布 (BAKUFU)」。

巻く、結ぶといったつけ方で、装いに合わせて自分好みの多彩なスタイルを楽しめます。

日本の様式美をコンセプトにして作られた「瀑布」は日本が誇るブランドを世界にアピールするために設けられた「新日本様式」100選に、ジュエリーで唯一選出された新感覚のネックレスです。



Tokyo Kobe New York Antwerp Hong Kong Beijing Shanghai Taipei

お問い合わせ / お客様サービス窓口 ☎ 0120-111-446 (受付時間 平日9:00~17:00) [www.tasaki.co.jp](http://www.tasaki.co.jp)

さんちかメンバーズカードは、より便利に、よりお得にパワーアップ!

# さんちかメンバーズカード



Orico Card/Master Card



Orico Card/VISA



Orico Card/JCB

**入会金・年会費 永年無料!!**

**特典**  
(一例)

- 1 うれしい5%割引!!! さんちか各店で5,000円以上ご利用いただくと、ご利用金額の5%を割引します。[一部除外品あり]
- 2 さんちかはもちろん、さんちか以外でのショッピングにもポイントがつく!!
- 3 さんちかでショッピングご利用の場合、分割払い3回まで手数料がかかりません!!

※ご入会はさんちかインフォメーションまたは、オリエントコーポレーションまで。  
(株)オリエントコーポレーション 神戸支店 TEL:078-341-5751

**santica**  
The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか  
<http://www.santica.com>



# あの西神飯店の姉妹店が三宮に登場！ ビーフの頂上「神戸牛」の頂点を三宮で



神戸牛のチャンピオンを一頭買い  
幻のビーフ探しの終点は三宮駅より徒歩2分

淡雪のように舌の上でとろける珠玉の味覚で、世界を唸らせた神戸ビーフ。その優秀牛をまるごと二頭買いするという常識破りの焼肉店、西神飯店の姉妹店が三宮にオープン、話題を集めている。

「神源」と名付けられたその店には、まさに神がかりの味覚が。細やかな霜降りはまさに芸術品。「頭買いなのでリーズナブルなばかりか「かつば」や「千本」などの稀少部位も味わえ、さらに流通経路も明白で安心。こだわりはお肉にとどまらず、蜚舞う溪流の水で育った減農薬「シヒカリ」やプレミアム焼酎も。ランチには神戸牛のタンが入りハンバーグ「タンバーグ」(商標登録済)も是非！

生産農家・卸業者との絆で  
本物の神戸ビーフをあなたに



神戸ビーフ品評会が認定する最優秀賞のタテを手に微笑む桂木正昭マネージャー

兵庫県産の黒毛和種として血統を守られてきた「但馬牛」のうち、格付A4のNO.6以上が神戸牛として認定される。神源はその中でも数多い優秀牛を育ててきた中西牧場と提携し、オーナー自らこまめに専用牛舎へ通い状況をチェックしている。牛は清潔な牛舎で、無農薬のえさを食べるのびのびと育つ。市場でも卸業者と連携し、品評会で優秀賞以上の牛を品質を細かくチェックして購入する。健康で美味しい最高の牛を適正な価格で、常に努力している。



落ち着いた雰囲気店内  
VIPルームなど個室も完備



超プレミア特選神戸牛を  
すべて、味わう至福！

サーロインやヘレなどおなじみの部位から、  
モミジやヒウチなど稀少な部位まで17種類が皿に勢揃い。  
「丸ごと二頭食い」は神戸ビーフのすべてを、ご賞味いただけます。  
他では味わえない「二頭食い」だからこその驚沢！

丸ごと二頭食い 一八、五〇〇円



兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町4-1  
・JR神戸線三ノ宮駅 東口 徒歩2分  
・阪急神戸線三宮駅 徒歩5分  
・阪神本線三宮駅 徒歩2分  
☎078-230-2918  
17:00~24:00 (L.O.23:00) 不定休



神戸牛(神戸肉)の共励会(せり市)は、年に30回ほど開催されます。実際にせり会場にオーナー自身が出席し、最優秀賞はもちろん優秀賞以上の上質な神戸牛を自分の目で確かめ、競り落としていきます。牛を二頭買いくることで、余すところなく適正な価格で最高の神戸ビーフをご提供いたします。

オーナーのこだわり



松田芳明オーナー自らが、市場に出向き最高級の神戸ビーフを仕入れる

# フロントアート

*The front art*



石阪春生 「蝶と古い城く女のいる風景」2008年



6 特集

幸せが住むまち・神戸

8 神戸は神様に由来するまち

随筆・加藤隆久

10 「神戸に住み、踊り続ける幸せ」

アンドリュース・エルフィンストンさん・

瀬島五月さん



14 思い出の結婚式、  
思い出の式場



26 あこがれの  
神戸ブランドで飾りたい

34 セレブライダル神戸対談(第5回)

36 「神戸をウエディングの街に」

神戸ウエディング会議

40 結婚式2次会&PARTYにおすすめのお店 SELECTION

50 「ブラジル日系画家100年の歩み展」神戸で開催  
インタビュー 若林和男さん

4 FRONT ART／石阪春生

5 目次

42 神戸港発「せとうち・感動体験クルーズ」が启航

44 平成20年暑中御見舞名刺広告

48 ひょうごで楽しむ田舎暮らし

52 田中まこの神戸が撮っても好き②

54 イベントスケジュール

58 KOBECCO2008 塩谷伸介 中村南月

60 丹野最世子ファッションショー&ハワイアンHula

62 ベルリン フライン・ガルテンとベルリンフィル ピクニックコンサート

64 風さやか ラジオ番組「愛と夢 永遠のタカラジェンヌ」9周年

66 神戸市医師会公開講座 くらしと健康⑨ 「熱中症にご注意」

68 でん太の教えてドクター

70 <連載>おもしろ浮世絵講座・江戸人の遊び心②

究極のデフォルメ「富嶽三十六景」逆さ富士の怪 中右瑛

72 <連載>海船港 日本に初寄航したラプソディ・オブ・ザ・シーズ 上川庄二郎

74 <連載>漫画 情熱の洋菓子職人 比屋根毅物語⑧ 佐藤晴美

84 <連載>コーヒーカップの耳⑩ 文・出石アカル 絵・菅原流人 題字・六車明峰

86 <連載>神戸異人館物語 夜明けのハンター② 文・三条杜夫 絵・谷口和市

92 耳よりKOBE アスリートタウンクラブ／Restaurant Nuages de Violet／

北野クラブ／夙川学院大学／Canto／琴平の宿

98 KOBECCOグルメ

109 法人会員ニュース

116 百店会だより 柴田音吉洋服店125周年

130 有馬歳時記

134 コウベスナップ

136 定期購読のご案内・編集後記

137 Present

138 2008年8月の貴方のby天城鳳月

139 湊川神社 宝物殿を訪ねて⑧ 「大楠公」前田青邨

今月の表紙 THE GARDEN ORIENTAL SOSHUEN(蘇州園)／

東灘区住吉山手

撮影／スタジオブロックス



# 幸せが・神戸 住むまち

*Kobe Wedding*



2人なら、もっと幸せ。神戸なら、もっともっと幸せ。  
神戸で結婚式を挙げること、  
そして、神戸に住むことの幸せを特集しました。

神戸ウェディング会館  
*Kobe Wedding Conference*





# Contents

随筆 加藤隆久さん(生田神社宮司)  
「神戸は神様に由来するまち」

対談 瀬島五月さん&  
アンドリュー・エルフィンストンさんご夫妻  
「神戸に住み、踊り続ける幸せ」

「あこがれの神戸ブランドで  
飾りたい」

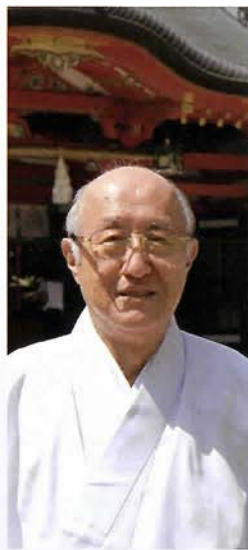
「神戸をウェディングの街に」  
神戸ウェディング会議

思い出の結婚式、  
思い出の式場



# 神戸は神様に由来するまち

神戸の名は、古代、神社の封戸<sup>かんべ</sup>のあたった「かんべ」に由来すると言われており、その神社とは生田神社。生田神社は神功皇后が海で嵐に出会い、神に祈ったところ行く道が見えたという神社です。近年では、陣内智則さん&藤原紀香さんが挙式したことで全国的に注目を集めた生田さんの宮司に、神戸の縁起の良さをお話しいただきました。



生田神社宮司  
加藤隆久

1934年生まれ。  
神戸芸術文化会議議長。神戸女子大学名誉教授。文学博士。  
震災で倒壊した生田神社を「耐震神社」として再建。神道史や地域史の研究、伝統芸能やミュージカルのプロデュースと幅広く活躍。神戸市文化賞、兵庫県文化賞受賞。

生田神社は神戸の自然とともに、祖先とともに、人とともに歩んできた神社ですが、神の戸と書いて「こうべ」という地名は、生田神社に由来します。大同元年（806）の牒（公文書）に「生田の神の神戸<sup>かんべ</sup>44戸を賜る」とあります。このお上から生田の神を守る命を受けた44戸の神戸<sup>かんべ</sup>村が、時とともに「かんべ」「こんべ」「こうべ」となりました。現在150万都市となった神戸市は、生田の神を守る家44戸からスタートしているのです。

1808年前に、生田神社は創

設されました。ご祭神は稚日女尊、つまり若く瑞々しい太陽のような女神です。また、生田という地名は古くは「活田」とも記され、当時は何かいきいきした活力ある場所であつたみたいです。

日本書紀に生田神社は神功皇后により祀られた神社と出てきますが、その時神功皇后のお腹の中には後の応神天皇がおられました。生田の神様はそのことから「生み出す」活力あるいきいきとした、神戸の地にふさわしい神様と言われております。

一方で、神戸と生田神社はさま

ざまな災害に見舞われてきました。昭和13年の阪神大水害をはじめ、山が近い花崗岩質の土壌なのでたびたび水害に襲われました。戦災でも全国でも大きな被害を受けた都市の一つで、昭和20年の3月17日と6月5日には神戸大空襲でこのあたりは「木草焼き尽くされました。そして震災は安政の大地震、そして記憶にも新しい平成7年の阪神・淡路大震災では壊滅的な被害を被りました。しかし、これらの災害から立派に復興、特に阪神・淡路大震災では世界でも類を見ない驚異的な復興を成し遂げたのです。大変な困難の中でも一致団結して乗り越えて、以前よりも立派にできました。神戸はそんな再生力のある都市であり、生田の神様は甦りの神様でもあるのです。





最近ではご存じのとおり陣内智則さん、藤原紀香さん夫妻ですが、紀香さんは生田神社とゆかりの深い神戸親和女子高の出身という縁で、生田神社に決めたようです。紀香さんはここにきて一番に「弁

生田神社は応神天皇の誕生や生まれるという地名に関連し、古くから縁結びの神様としても信仰されています。また、全国の神社でも珍しく、氏子区域内に古来から生田裔神八社という、天照大神が



素盞鳴尊と誓約されたときに成られた五男三女神をそれぞれお祀りする一宮から八宮の神社があります。まさにこの少子化の時代、良縁に恵まれ子宝を生み出してほしいと、参られる方も多いのです。生田神社では各界の著名人が式を挙げております。戦前ではベルリン五輪代表の村社講平選手が挙式をし、ラジオで実況されました。陸上短距離の朝原宣治とシンクロナイズドスイミングの奥野史子選手夫妻や、鳳蘭さんもここで挙式しています。

天様はどちらですか」と、結婚式の時一番に弁天様にお参りしたのですよ。弁天様は芸能の神様ですから。それ以降、池の中にあつた弁天様を開放して、「紀香弁天」とよばれ芸能向上に縁結びにとお参りする若者が増えています。

生田神社には日本神戸民俗芸能団という全国唯一の神社所属の芸能団があり、これまでカナダやドイツ、エストニアなどで公演をおこない、生田ゆかりの「箴」や「生田敦盛」などの能曲を披露しました。また、歌舞伎の故実川延若の後援会である井筒会、井戸知事も歌を詠む生田の森での曲水の宴、生田雅楽会もおこなわれ、芸能活動も盛んです。神戸はモダンズの街ですが、雅な文化を守っています。そんな環境での神前結婚式が、陣内さん紀香さんの挙式で注目を浴び、これを契機に全国の神社でも神前結婚式が増えたと伺っています。

いきいきと活力があり、生まれる、甦る、縁に恵まれる神様が鎮座する神戸は、人生の門出にふさわしい街ではないでしょうか。

# 神戸に住み、 踊り続ける幸せ

アンドリュー・エルフィンストンさん  
瀬島 五月さん

二〇〇六年第六十三回全国舞踊コンクール(バレエの、パド・ドゥ部門で、第位に輝くなど、全国的にも注目を集めるペアである、アンドリュー・エルフィンストンさんと瀬島五月さんのご夫妻は、五月さんの出身地である神戸に住み、貞松・浜田バレエ団に所属しておられます。お二人の出会いと、結婚後に神戸での生活を選んだ理由、バレエを通じたこれらの夢などをお話いただきました。



貞松・浜田バレエ団公演「くるみ割り人形」より 撮影/テス大阪

## 山と海は人生に必要な！

ーオーストラリア出身のアンドリューさんと、神戸出身の五月さんとの出会いは。

**五月** 私がニュージールランドのバレエカンパニーに就職し、彼はその一年先輩でした。カンパニーには世界各国からバレリーナが集まっていたんです。一回、踊るきつかけがあつて、それからお付き合いが始まりました。その後私がカンパニーを離れることになって、彼も一緒に日本に来ることになりました。それから5年です。

**アンドリュー** 僕が住んでいたオーストラリアの町も、海辺だったん



瀬島五月さん、アンドリュー・エルフィンストンさんご夫妻



です。山の上に住んでいても海が見えた。それはとても神戸に似ています。

**五月** カンパニーがあつたウェリントンも、山も海もある港町でしたね。

**アンドリュウ** 海は、僕の人生にはぜったい必要なものです(笑)。

**五月** 私は神戸にはいずれ戻ろうと思つていました。小さな頃からバレエを学んできた場所でしたし、おしゃれだし、雰囲気もとても落ち着く。東京に行けば、仕事も多いのにつてよく言われるんですけど。

**アンドリュウ** でも神戸は、東京にもすぐ行けるから便利。ステージのあるホールも多いし、住みやすい場所。

―神戸でお好きな場所はありませんか。

**アンドリュウ** 家のまわりと、バレエ団のあるところも好きです。

**五月** それから家の近くにあるすずらん湯。アンディは温泉が大好きなんです。

**アンドリュウ** うん、好きですね。他の人とお湯に入るのも、最

初からまったく平気だった。

**五月** そうそう、アンちゃんはいく「日本人ばい」って言われるんですよ。ラーメンとカレーが好きだし(笑)。

**アンドリュウ** 博多の駅前で食べたラーメンはおいしかった！あと、鹿児島島のねぎラーメンも好き。

―日本国内もいろいろ出かけられているんですね。

**アンドリュウ** 鹿児島や、名古屋、京都、東京へ、ゲストとしてステージに立つために行きました。

**五月** 彼は他のバレエ団のゲスト出演のお仕事が多いんです。彼は、性格がとてもフレンドリーなので、どこに行つても誰とても親しくなれるみたい。貞松・浜田バレエ学園のスタジオでも、すぐに打ち解けましたから。

**アンドリュウ** 日本はとても好きです。

日本人は、もともと人を気

遣うことができ、そういうところが好きです。人を大事にするところ。これは、世界のどこにいても大切なことだと思う。僕のお父さんも、日本に来たがつているんですよ(笑)。

**五月** 彼のお父さんは、オーストラリアの大学で、英語を教えている先生なんです。その大学の同僚の先生が日本を訪れて、「とても良いところだった」と言うので、お父さんもすっかり日本びいきになつてしまつて。

**アンドリュウ** 日本の学校の、英語の先生になりたいというのが父の夢です。



バレエ学園の生徒たちに祝福されての結婚式

## 二人で乗り越えた 初主演「白鳥の湖」

―結婚されてからの生活はどうですか。

五月 例えば、なにかいやなことがあったときに、一人だと深く考え込んでしまうところが、二人でいて、他のことをしゃべっていると忘れてしまえるからいいですね。

**アンドリュウ** 僕は一人でいるのがきらいだから、いつも五月に寄っているよ(笑)。それに、彼女は料理が上手だからうれしい。

**五月** 私は、貞松・浜田バレエ団の教室で教えていて、彼は他のバレエ団のお仕事などがあつたりするのので、夜仕事が終わって、2人でお家で食事するという生活です。

―ステージ上でのパートナーとしては。

**五月** 彼とはずっと一緒に踊っていますから、安心してすべてをまかせられます。こういう踊りがしたいとか、この表現はしたくないといった好みもわかっていますから。よく、家で二人で、いろいろなバレリーナや、ステージのDVDを見ながら、

話し合っています。だから、こうしていきいたい、という方向も同じなのだと思います。

―昨年、お二人が主演された「白鳥の湖」(全幕)は、とても高い評価を受けましたね。

**アンドリュウ** うーん、もう一回踊りたい。

**五月** 納得していませんから、二人とも。というのも、舞台というのは、照明と、舞台装置と、観客と、オーケストラが合わさって、そこで初めて発見できるものっていうのもたくさんあるんです。他の誰のまねでもない、自分だけの解釈や、踊りを追求しているなかで、「こういう解釈もあつた」「ああいうステップもあつた」って、その当日も発見していく。初めての全幕主演で、しかも本当にたくさんさんの解釈がある「白鳥の湖」という舞台でしたから、ものすごいプレッシャーでした。公演前は、まず家事がおろそかになりました(笑)。

**アンドリュウ** プレッシャーは抱えるものです。僕たちは自分のベストを出したいと思いますし、ありえないことであっても、100%に

する努力はしようと思っていいます。そのために、リラックスしたり、人間らしい生活を少しでもすることは大切です。同じ演目でも、回を重ねるごとに、もっと広く見えるようになると思います。

**クラシックバレエというジャンルを越えて**

―これから、挑戦したいことは？

**アンドリュウ** 皆さんに、もつといろいろなバレエを見てもらって、もつと良いものを知ってほしい。僕らは、エンターティナーとして、もつとたくさんさんのことをしていかなければと思います。

**五月** 公演も、有名な三大バレエばかりでなく、「ロミオとジュリエット」



2007年「白鳥の湖」公演より 撮影/テス大阪





踊りの方向性は2人とも同じ一家でも踊りについていろいろな話を合うとか

にしていかなければならないと思うんです。

**アンドリュース** エンターテイナーとしてね。

**五月** 先日、北海道のクラブイベントに参加してきました。他には、ブレイクダンスやストリートダンスのダンサーたちが参加していて、私はそこでコンテンポラリーを踊らせていただいたんですけど、とても楽しかった。そこで感じたのは、クラシックのバレリーナたちは、なんだか自分たちだけ高級な踊りをしているように振る舞って、わりと他のダンスを取り入れようとしないうんです。私はそんな壁を取り払いたい。いろいろなジャンルのダンス、例えば、ストリートダンスと、サルサと、盆踊りと、クラシックバレエ、それらがみんな集まって、垣根を取り払って、交流したり、そんなたくさんの分野のダンサーが参加してそれぞれの踊りを披露する公演ができたらいいと思います。トウシューズを履いて、ヒップホップなんておもしろいかもしれない(笑)。

**アンドリュース** バレリーナが、新しいダンスを勉強するのは、楽しいし、それによって踊りは落ちていく

ことはないと思う。逆に、上手になると思う。僕は、神戸でいろいろなことをやっていきたいと思っています。神戸には五年住んでいるけれど、とても好きなところです。

**ご夫妻が出演する  
貞松・浜田バレエ団の  
これからの公演**

平成20年度文化庁

芸術創造活動重点支援事業

「コッペリア」全幕

9月23日(祝火) 17時開演

尼崎アルカイックホール

堤俊作指揮

大阪シンフォニー交響楽団

平成20年度文化庁

芸術創造活動重点支援事業

「創作リサイタル20」

10月10日(金) 18時30分開演

神戸文化ホール

「くるみ割り人形」全幕

12月20日(土) 21日(日)

神戸文化大ホール

堤俊作指揮

ロイヤルメトロポリタン管弦楽団

※アンドリュース・エルフィン・ストーンさんは「くるみ割り人形」のみ出演

ト」や「ジゼル」、その他たくさん作品ができたらいのになと思う。良い作品が他にもたくさんあるんだということを、広めたいですね。そのためには、バレリーナが、もっと外に出て行って、踊ってたくさんの人にみてもらうことが大切だと思うんです。バレエ公演というのは、特に日本は、まだまだ自分の挑戦といったステージが多いんじゃないかと。

**アンドリュース** バレリーナは、毎日、鏡の前でレッスンしているから、どうしても自分と鏡の中の自分だけという世界に入ってしまう。

**五月** 自己満足じゃなくて、もっ